



数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2021年度 関東・首都圏ブロック第9回ワークショップ

農学分野データサイエンス教育ワークショップ ～農学 × SDGs × データサイエンス教育～

農学分野のデータサイエンス教育について、農業とSDGsを絡めたワークショップを開催する。令和2、3年度に実施した農学分野データサイエンス教育事業の総括と今後の展開について、関係各位と情報交換を行う。

日時：2022年 3月4日(金) 15:00～17:30

形式：オンライン

【プログラム】

- 15:00-15:05 開会の辞 (茨城大学 農学部長 戸嶋 浩明)
- 15:05-15:20 茨城大学農学部の「農学分野データサイエンス教育プログラム」について
(茨城大学 農学部 教授 岡山 毅)
- 15:20-15:35 農学分野のデータサイエンス教育のあり方
(茨城大学 農学部 特任教授 田村 義保)
- 15:35-15:50 AI、機械学習は農業をどのように変えるか？
(東京大学 数理・情報教育研究センター 准教授 小林 亮太)
- 15:50-16:05 「みどりの食料システム戦略」
～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～
(農林水産省 大臣官房環境バイオマス政策課 ご担当者様)
- 16:05-16:20 持続的農業とデータサイエンス
(茨城大学 農学部 教授 小松崎 将一)
- 16:20-16:30 (休憩)
- 16:30-16:45 アイアグリ株式会社の農業支援事業と、数理データサイエンス教育に期待すること
(アイアグリ株式会社 齋藤 竜馬 氏)
- 16:45-17:00 「農学におけるデータサイエンス教育の発展に向けて」～企業人からみた教育とは？～
(株式会社ViAR&E 市浦 茂 氏)
- 17:00-17:15 農学部の学生が感じたデータサイエンス教育のあるべき姿
～農業とデータサイエンスを融合するためのエッセンス～ (山形大学 学生 森 智洋)
- 17:15-17:30 総合討論 座長 小松崎 将一
- 17:30- 閉会の辞 (東京大学 数理・情報教育研究センター、
数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 議長 北川 源四郎)

【お申込方法】 Webサイトより事前登録

(事前登録のうえ、アクセス情報を取得してご参加ください) <https://forms.gle/GnmGH8Uqdy9hkZNg5>

定員:300名 (お早めにお申し込みいただければ幸いです)

関東・首都圏以外の皆様にもご参加いただけます



主催

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム
茨城大学農学部

参加費：無料

ワークショップに関する問い合わせ
茨城大学農学部
E-mail: tsuyoshi.okayama.3@vc.ibaraki.ac.jp